

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	企画部地域づくり課	■担当係	地域支援係
■評価事業名称	市政座談会に関する事務		
■評価事業コード	010600 - 065	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	06 市民が主役となり企業や行政と協働するまちづくり	
	■基本施策	04 信頼ある開かれた行政の推進	
	■施策	02 広聴活動の充実	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	地区民の意見要望を市政に反映させる。市内16地域で市政座談会を開催し、あらかじめ地域から出された要望や課題について市の考えを説明するとともに、市民と直接意見交換する。まただされた要望を各部単位にフィードバックし、施策に反映させるよう促す。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	市政座談会に関する事務	地区民		・16地区で開催(参加総数851人、うち女性137人)*24年度は4地区で市長講話形式、12地区で座談会方式をとった。 ・座談会方式をとった12地区からの提案課題29件

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	11	10	4	16	
人件費	2,388	2,454	1,217	2,754	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,399	2,464	1,221	2,770	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	16地区での開催	13地区	16地区	16地区	16地区	地域の希望する方法で開催した。
02	参加者数	874人	935人	1005人	851人	座談会参加者総数。
03	提言された課題数	58	37	15	29	開催地区の合計

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

04	開催1地区当たりコスト	184千円	154千円	76.3千円	173.1千円	フルコスト÷開催地区数
----	-------------	-------	-------	--------	---------	-------------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- ☐ A. 順調
☒ B. 概ね順調
☐ C. 遅れている

達成状況の分析

自治組織が主催することとしているが、ほぼすべての地区で開催している。

問題点・課題等

女性や若い世代の参加が少ない。また、地域からの課題も形骸化している部分が見受けられる。

1. 直接的な受益者の範囲

- ☒ 不特定多数に及ぶ
☐ 特定されるが多数に及ぶ
☐ 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- ☐ 大きな不利益やリスクが生じる
☒ ある程度の不利益やリスクが生じる
☐ 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- ☐ 類似の事業はない
☒ 類似の事業はあるが競合はない
☐ 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ☐ ニーズが高まっている
☒ ニーズは変わらない
☐ ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
☒ 順位が中程度
☐ 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
☒ 順位が中程度
☐ 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- ☐ 先進的またはユニークな事業である
☒ 他と同程度の事業である
☐ 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- ☐ 民間委託等の拡充は難しい
☒ 民間委託等の拡充が十分に可能
☐ 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- ☐ 今以上の効率化や改善は難しい
☒ 効率化や改善を図ることは十分に可能
☐ 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- ☐ I. 拡充
☒ II. 継続
☐ III. 縮小・要改善
☐ IV. 民間活用・協働事業化
☐ V. 廃止・休止
☐ VI. 完了

補足説明

市政座談会は、市側から開催要項を提示し、それに沿って自治組織が主催となっていくこととしている。